

町村をむすぶ

MIYAGI 宮城 町村会だより

<https://www.miyagi-ck.gr.jp>

2023
10-11
Vol.517



町村会のうごき

共済事業アレコレ

町村通信 21 ～川崎町～

「移住・定住」の取組みについて

加美町ニツ石ダム

加美町宮崎地区にあるニツ石ダム。秋は宝森をはじめとした周囲の山々の紅葉が湖面に映り込み、息を呑むような美しさを感じさせてくれる場所です。

静かなダム湖畔で、鮮やかな秋の情景に包まれてみませんか。

令和6年度県予算等に関する要請活動



池田憲彦県議会副議長（右から2番目）と正副会長

について

宮城県議会議長に対する要請活動実施後、江陽グラウンドホテルに移動し、元宮城県総務部長で、現在地方公共団体情報システム機構（J-LIS）情報化支援戦略部長の江口哲郎氏から、「自治体情報化施策の現状とJ-LISの事業活動について」と題して政策説明がありました。

政策説明終了後、宮城県の各部長、副教育長、公営企業管理者に出席いただき、令和6年度県予算編成並びに施策に関する要望についての意見交換会を開催しました。

冒頭、宮城県知事、副知事が公務により不在となったことから、小野寺邦貢総務部長に対し、齋会長から要望書を手渡しました。

会議では、10月3日に実施した政務委員会において決定された要望事項について、総務建設・産業経済・厚生文教の各部長がそれぞれの部の要望内容を説明しました。

説明の項目は次のとおり

・**総務建設部会**

多核種除去設備等（ALPS）処理水対策について、町村財政基盤の強化について、デジタル化施策の推進について、道路整備事業の促進について、令和4年7月豪雨の被害に対する復旧について

・**産業経済部会**

農業基盤整備事業について、農業生産の総合的な振興について、新

な森林管理システム実施の支援について、水産業対策の充実について、広域観光の充実に向けての支援について、修学（教育）旅行の誘致促進について

・**厚生文教部会**

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、野生鳥獣対策における担い手の育成について、学校図書館の充実について、小中学校の給食費無償化について

各部会の要望内容について、県担当部長からそれぞれ回答をいただきとともに、関係する政策情報について説明がありました。

その後の意見交換では、町村長から多くの意見や質問、提案が出され、また県担当部長から、町村が抱える問題の積極的な調査や支援について発言されるなど、活発で有意義な意見交換会となりました。

全国町村長大会

要請活動・意見交換会

11月15日、東京都渋谷区神南のNHKホールにおいて、全国町村長大会が開かれました。同ホールでの開催は4年ぶりとなり、全国の町村長が一同に会した会場は熱気に包まれました。

来場者全員による国歌斉唱のあと、吉田隆行全国町村会長の挨拶に続き、岸田内閣総理大臣ほか政府中枢の方々から来訪し祝辞を述べられ、

また、岡崎昌之法政大学名誉教授から、町村に対する力強いメッセージをいただくなど、厳かな雰囲気の中、大会は進められました。

大会の議事においては、「全国的な防災・減災対策、国土強靱化の推進」「少子化対策の推進とこども・子育て政策の強化」「農業・農村政策の一体的な推進による食料安全保障の確立」「森林譲与税の譲与基準の見直し」について緊急決議、特別決議として採択したほか、政府予算・施策に関する要望35項目を採択しました。

大会終了後、政務委員会の正副部長及び本会監事により、3班編制で衆議院・参議院議員会館を訪問し、宮城県関係の国会議員に対し、大会の緊急決議、特別決議、決議及び要望の実現に向けた要請活動を行いました。

また、夕方18時から、ホテルニューオータニにおいて、宮城県関係国会議員・宮城県知事と町村長との意見交換会を開催しました。

大会における緊急決議、特別決議、決議及び要望の実現について改めて要請するとともに、今後の地方行政に対する活発な意見交換が行われました。



大会の様子

第2回政務委員会・第3回町村長会議

10月3日、宮城県自治会館において政務委員会・町村長会議を開催

10月3日県自治会館において、令和5年度第2回政務委員会を開催し、「令和6年度県予算編成並びに施策に関する要望書」の審議を行いました。8月29日に政務委員会幹事会（町村企画財政課長等で構成）で審議し、委員会へ提案された事項について各部会ごとに協議しました。

主な事項は次の通り

・総務建設部会

東日本大震災の復興関連事業、原子力対策、町村財政基盤の強化、地域連携事業の推進、デジタル化施策の強化推進など。

・産業経済部会

農林水産業の支援と振興策の充実、広域観光の充実に向けた支援、地域産業の育成、中小企業支援など。

・厚生文教部会

再生可能エネルギーによる地域振興、新型コロナウイルス感染症に対する体制整備、子育て支援や障害福祉施設の対策、学校教育環境の充実など。

委員会では、町村長から要望の修正案や提案について、意見が出されました。

この審議結果をもとに要望内容を修正し、11月2日、宮城県知事・宮城県議会議長に対し要請活動を実施いたします。

政務委員会に引き続き、令和5年度第3回町村長会議が開催されました。

会議では①宮城県町村会表彰に係る在職年数の通算に関する規程の一部を改正する規程②令和5年度宮城県町村会一般会計ほか1会計の令和5年度補正予算③令和6年度宮城県町村会会費の賦課徴収方法について審議され、原案の通り決定されました。

その後、「東京ガールズコレクション」が

展開する若年層のパワーを活用した地方創生・SDGsの推進」の政策説明があり、(株)W TOKYO 地方創生掌管役員 田島康弘氏から、東京ガールズコレクションを利用した地方創生について説明がありました。

町村長視察研修

令和5年10月10日から12日の3日間、町村長視察研修を実施しました。他自治体の事業施策を調査し、自律的な自治体運営に資することを目的に、徳島県海部郡美波町及び那賀郡那賀町を視察しました。

美波町では、ミナミマリナボを会場に、(株)あわえと連携したサテライトオフィス誘致やデュアルスクール等、2拠点生活を営むための環境整備の推進と、地域の活性化について視察を行いました。

那賀町では、那賀町役場を訪問し、国家戦略特区「ドローン特区」に指定されている那賀町における、ドローンを活用した実証実験や、交流人口拡大の取り組みについて現地視察を行いました。

町村長14名が参加した今回の視察研修は、他にも徳島県鳴門市や兵庫県南あわじ市の賑わい創生施設の視察も行い、充実した研修となりました。

市町村職員採用統一試験

令和5年9月17日、県自治会館とTKPガーデンシティ仙台などを会場とし、市町村職員採用統一試験を実施しました。

本会对応分は、21町村4組合について募集を行い、あわせて329名が試験に

挑みました。試験は各募集団体、職種試験ごとに行われました。

移動研修

令和5年10月23から24日の2日間、七ヶ宿町において移動研修を実施しました。

七ヶ宿町では、小さくても持続可能な「住み心地100点」のまちづくりを目指しており、今回の研修は、賑わい拠点施設と林業の関わりや、滞在型観光と移住定住に向けた取り組みなどについて現地視察を実施しました。

初日は、七ヶ宿町ふるさと振興課安藤課長補佐から、まちづくりのテーマと、移住促進のため実施している施策について講義をいただき、その後七ヶ宿まちづくり株式会社が行っている「こらっしえ」と「や・すまっしえ」の視察をしました。持続可能な資源として木質バイオマスを利用した温泉施設等を運営しています。その後移住相談も行う古民家カフェの視察と、廃校を利用した宿泊施設「街道HOSTELおたて」の視察を行いました。

2日目は、白石川の源流である「鏡清水」や、雪を利用した倉庫「雪室」、「七ヶ宿ダム」の視察を行いました。「雪室」では、雪を利用することで湿度と気温が一定になり、保管している作物の甘みが増すとのことで、保管した作物を雪室ブランドとして販売を行っているとの説明をいただきました。その後昼食をはさみ、「七ヶ宿ダム」では、七ヶ宿ダム管理事務所の坂本所長からダム完成までの歴史や役割などを説明いただき、その後ダム内部の視察を行いました。

今回の研修には、町村職員15名が参加し、七ヶ宿町での移動研修は実りのある研修となりました。

町村会日誌

9月

▼7日 全国町村会理事会、都道府県町村会会長会(全国町村会館) 齋会長出席

▼17日 市町村職員採用統一試験(宮城県自治会館)

▼28・29日 北海道東北・関東町村会災害共済事務局長会議(青森県)

▼31日 災害共済事業担当者会議(宮城県自治会館)

10月

▼3日 正副会長会議、政務委員会、町村長会議(宮城県自治会館)

▼5日 災害共済加入推進会議(宮城県自治会館)

▼10・12日 町村長視察研修(徳島県美波町、那賀町)

▼17・18日 北海道東北六県町村会会長会議(福島県)

▼19日 齊会長出席

▼20日 全国山村振興連盟理事会(全国町村会館)

▼23・24日 移動研修(七ヶ宿町)

▼26日 宮城県水産林政部と宮城県市町村水産振興対策協議会との意見交換会(江陽グランドホテル)

任期満了に伴う村田町長選挙(8月1日告示)において、現職の大沼克巳氏が無投票により当選されました。



村田町長
おおぬま かつみ
大沼 克巳氏

●プロフィール
1962年 村田町生まれ
2003年 村田町議会議員
(~2019年5月 通算4期)
2011年 村田町議会副議長
2015年 村田町議会議員
2019年 村田町長(1期)
2023年 村田町長(2期) *8月28日就任

※ひとことインタビュー
コロナ禍から「アフターコロナ」へと変わり、様々なイベントの開催など、以前のような日常が戻りつつあります。村田町においても「布袋まつり」「蔵の陶器市」が開催され、11月には県内5番目の宮城オルレ村田コースがオープンし、多くの方々にお越しいただき交流人口も増えてきています。交流人口の増加は、経済効果のみならず、町に賑わいや活気を呼び込みます。今後多くの方々から村田町の魅力を知っていただき、また来たくなる「まちづくり」に取り組んでまいります。

任期満了に伴う川崎町長選挙(8月1日告示)が8月6日に投票票され、現職の小山修作氏が当選されました。



川崎町長
おやま しゅうさく
小山 修作氏

●プロフィール
1957年 川崎町生まれ
2004年 川崎町議会議員
(~2011年8月 通算2期)
2011年 川崎町長(1期)
2015年 川崎町長(2期)
2019年 川崎町長(3期)
2023年 川崎町長(4期) *8月28日就任

※ひとことインタビュー
川崎町の子育て支援は県内トップクラス。今年度からは、小中学生の給食無償化も加わりました。引き続き、子育てしやすい環境作りに努めていきます。また、今後は高齢者に対する支援の充実を目指し、その一つとして带状疱疹ワクチンの助成をいち早く行い、推進しております。先人たちが、多くの困難を乗り越えて、町づくりをしてきたように、私たちも知恵を出し、夢を語り、ともに前に新しい町づくりに取り組んでまいります。これからの川崎町にご期待下さい。

任期満了に伴う色麻町長選挙(8月1日告示)において、現職の早坂利悦氏が無投票により当選されました。



色麻町長
はやさか りえつ
早坂 利悦氏

●プロフィール
1949年 色麻町生まれ
1976年 色麻町議会議員
(~2010年6月 通算7期)
2015年 色麻町長(1期)
2019年 色麻町長(2期)
2023年 色麻町長(3期) *8月28日就任

※ひとことインタビュー
卯年のこの一年も早十一月に入り、我が町にもまもなく雪のシーズンを意識する時期を迎えることとなります。周りの美田を見渡すと、既に刈取りを終えた光景に、そして振り返ると今年も、今までにない高温の日が続く水不足の不安もあつた中、まずまずの収穫ができていることに農業を主産業とする町として少なからず安堵しております。現在町の人口が六三〇〇人になりましたが、全ての町民が活力を失わず希望の持てる町を創り上げたいと思っています。町民の幸せを願います。

任期満了に伴う加美町長選挙(8月1日告示)が8月6日に投票票され、新人の石山敬貴氏が当選されました。



加美町長
いしやま けいき
石山 敬貴氏

●プロフィール
1969年 加美町生まれ
2009年 衆議院議員
2019年 東北大学大学院農学研究所 助教
2023年 加美町長就任 *8月28日就任

※ひとことインタビュー
「住民満足度100%、日本一の町を目指す」合併20年の記念すべき年に町民の皆様より、加美町の町政運営を任せられ、身の引き締まる思いでおります。私はこれからの町政を考える上で、敢えて大きな目標を掲げさせて頂きました。町民の皆さまから「この町に住んで良かった」「この町で子供を育てたい」と思ってもらえる、町民から愛されるまちづくりを行うべく、気概と誇りを持って取り組んで参りたいと思います。

任期満了に伴う松島町長選挙（8月22日告示）において、現職の櫻井公一氏が無投票により当選されました。

松島町長

さくらい 公一氏



●プロフィール

1949年 松島町生まれ
1997年 松島町議会議員
(～2015年8月 通算5期)
2015年 松島町長(1期)
2019年 松島町長(2期)
2023年 松島町長(3期) *9月11日就任

※ひとことインタビュー

松島町長期総合計画にある、集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち松島という目標のもと、定住、子育て、交流を重点戦略として、活力あるまち松島を目指し、これまで町政運営に取り組んでまいりました。その施策につきまして、コロナ禍や、ロシア・ウクライナ問題等での経済の不透明感が多々ありますが、町民各位の様々な声を町政に反映させ、コロナ禍後の観光振興や、新たな企業誘致等へ着実に取組み、持続可能なまち、選ばれるまちを目指します。

任期満了に伴う七ヶ浜町長選挙（8月22日告示）において、現職の寺澤薫氏が無投票により当選されました。

七ヶ浜町長

てらさわ 薫氏



●プロフィール

1954年 七ヶ浜町生まれ
2015年4月 七ヶ浜町社会福祉協議会事務局長
2015年9月 七ヶ浜町長(1期)
2019年 七ヶ浜町長(2期)
2023年 七ヶ浜町長(3期) *9月11日就任

※ひとことインタビュー

町の三方を海に囲まれ、東北・北海道の自治体で一番面積の小さい七ヶ浜町は、古くから海とともに生活が営まれ、由緒ある菖蒲田海水浴場には多くの方が訪れます。コロナ禍を経た今、町には賑わいが戻りつつあります。これまで本町が培ってきた地域や人とひととのつながりを大切に、豊かな自然、恵まれた景観を次世代にしっかりと引き継いでまいります。住民の安全で安心して暮らしを守り、人材育成、町民の健康づくりを重点に「心かよう健康のまちづくり」に取り組みでまいります。

任期満了に伴う大和町長選挙（9月26日告示）が10月1日に投票開票され、新人の浅野俊彦氏が当選されました。

大和町長

あさの 俊彦氏



●プロフィール

1969年 大和町生まれ
2012年 大和町議会議員
※2015年8月辞職
2016年 大和町議会議員
※2019年9月辞職
2023年 大和町長(1期) *10月9日就任

※ひとことインタビュー

町づくりにあたっては、町民視線によること、町民皆様の声に傾聴することが大切であると考えております。本町は、進行する少子高齢化に加え、市街地と周辺地区における地域人口の偏り、農業の担い手不足、空き家・空き店舗の増加など、様々な課題に直面しております。しかし本町には、美しい風景、豊かな土壌、仙台圏から近い地理的優位性があり、その魅力を最大限に引き出し、持続的に発展する職住隣接の町として、町民皆様のご協力をいただきながら、将来にわたって「ずっと暮らしたい」と思ってもらえる町づくりに尽力してまいります。

任期満了に伴う女川町長選挙（10月17日告示）において、現職の須田善明氏が無投票により当選されました。

女川町長

すだ 善明氏



●プロフィール

1972年 女川町生まれ
1999年 宮城県議会議員
(～2011年11月 通算3期)
2011年 女川町長(1期)
2015年 女川町長(2期)
2019年 女川町長(3期)
2023年 女川町長(4期) *11月13日就任

※ひとことインタビュー

本町の基幹である漁業水産業においては海水温上昇の影響が大きくなってきました。そして海に限らず、様々な社会情勢・環境変化が私達を覆います。一方、ICTの進展と人口減少は今後も止みません。これらの状況を正面から見据え、新養殖種や新産業へのチャレンジの促進、官民双方のDX推進、子育て世代の負担軽減など、「もつといい女川(まち)、もつといい未来」を常に指向し、復興の次のステージとなる大事なここから、公民連携による「チーム女川」でのまちづくりを引き続き進めてまいります。

「移住・定住」の取組みについて

川崎町は、移住定住・起業サポートセンター「みやぎ川崎SPRING」を運営し、移住定住に関する相談窓口の拠点とします。施設には地域おこし協力隊が常駐。地域おこし協力隊は、川崎町へ移住し1〜3年の任期の間、施設の運営に従事しながら、地域の新たな魅力の発掘や任期終了後の起業・就業に向けた取り組みを行っています。

また、不動産業者が取り扱っていない空き家の情報を収集し、空き家を探している方へ紹介す

る「空き家バンク制度」を実施しています。制度を活用して移住された方は、令和5年3月末で延べ154名となりました。これまで空き家の修繕改修やクリーニング、引っ越し、取得、家賃に係る補助を実施してきたほか、定住を促進するため令和4年度から新築住宅を購入された方に30万円を交付する制度も開始しました。

今後も定住人口を確保するため、様々な施策に取り組み、移住・定住の推進を図っていきます。



みやぎ川崎SPRING



地域おこし協力隊の面々



リフォームした空き家

町村会の予定

11月



- 2日 県議会議長に対する令和6年度県予算等の要請活動
令和6年度県要望に関する意見交換会
- 13日 東部地区(北海道・関東・東北)町村会会長会議(～14日)
- 14日 全国町村会理事会・都道府県町村会会長会
- 15日 全国町村長大会
大会決議等の宮城県関係国会議員に対する要請活動
国会議員・知事と町村長との意見交換会
- 28日 全国町村会幹事会・都道府県町村会事務局長会議・災害共済事務連絡会議

12月



- 3日 北海道東北六県町村会事務局長会議
- 18日 正副会長会議

*新型コロナウイルス感染予防のため、日程が変更になることがあります。

共済事業アレコレ

個人年金共済について

ゆとりある老後生活のために、「年金共済」をぜひご活用下さい。

個人年金共済は、公的年金だけでは老後が不安だと思われる方、近い将来のための蓄えとしたいと考えているための保険で、定年延長に対応した2種類のコースが設定されています。

1. 税制適格コース

加入資格は、掛金払込予定期間が10年以上ある方です。

2. 一般コース

加入資格は、掛金払込予定期間が1年以上ある方です。

※「税制適格コース」は老後の生活資金確保のため、「一般コース」は近い将来のための蓄えとして、ご活用いただくことをお勧めします。

※掛金は、月払1口2,000円以上、ボーナス払1口10,000円以上で、それぞれ自由に設定することができます。(ボーナス払のみでの加入はできません)

11月中旬から～1月4日まで新規加入者の募集を行っています。

詳しいお問い合わせは、団体担当者または下記までご連絡ください。

宮城県町村会事業推進課 TEL022-221-9203